（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年　3月　1日		～	2025年　3月　15日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	
○従業者評価実施期間	2025年　3月　1日		～	2025年　3月　15日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月　31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	主に運動遊びを中心に活動をしており、地域の体育館を借りて思い切り活動することができ、利用者も満足して帰園しているときいている。	体幹の向上・感覚の統合などはもちろんのこと、達成感や満足感につながるよう、利用者１対スタッフ１で対応できるようにスタッフを配置している。	来年度は、年齢が低い利用者が大半なので、個別学習や小グループの活動を充実させていく。
2	ニーズに応じて、言語評価を実施している。児童の発達段階に合わせ個別訓練（PECS、読み書きなど）を提供している。	利用者の「やってみたい」「好き！」を大切にしながら、無理のない訓練につなげられるよう支援している。	個別と運動を組み合わせながら、より個別のニーズに合わせた活動を提供していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	より支援ニーズの高い児童への専門的支援の実施が特定の職員しか対応できていない。	全職員が専門的な教育を受けているわけではないこと	教材の整理整頓と支援マニュアルの作成、さらなる専門技術のスキルアップ
2	SNS等を利用した情報発信がうまく機能していない。	担当者が決まっていない	担当者を決め、定期的な情報発信を行い、より透明性のある活動を実施していく。
3			